

|       |                |             |           |                |
|-------|----------------|-------------|-----------|----------------|
| No.53 | 事業名 新規就農総合支援事業 | 24年度<br>予算額 | 18,740 千円 | 新規<br>拡大<br>継続 |
|-------|----------------|-------------|-----------|----------------|

### 1. 事業目的（趣旨）

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農後最長5年間を限度として、青年就農給付金制度を実施する。

国の「農の雇用事業」、県の「新規就農離陸加速モデル事業」を市単独補助事業により補完し、幅広い新規就農者への支援と将来の農業後継者の確保、育成を図る。

### 2. 全体の事業内容

#### (1) 内 容

①新規就農者確保事業（青年就農給付金〔経営開始型〕） 【国⇒県⇒市⇒就農者】  
人・農地プランに位置づけられた原則45歳未満の独立・自営就農者で、年間150万円を最長5年間給付する。

②就農支援対策事業（市単独補助事業） 【市⇒就農者の雇用主】  
新規就農者を雇用するために「農の雇用事業」（2年間）あるいは「新規就農離陸加速モデル事業」（1年間）を利用し、継続して環境創造型農業に取り組む就農者の雇用主に対して、年間120万円を最長4年間支援を行う。

#### (2) 事業期間

平成24年度から

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3. 24年度予算

#### (1) 予算額

① 新規就農者確保事業（青年就農給付金〔経営開始型〕）・・・国100%交付制度 【新規】

1人 1,500千円/年×10人=15,000千円

②就農支援対策事業（市単独補助事業）

1人 100千円/月×12月×3人=3,600千円

③その他（市町事務費） 140千円

### 4. その他参考事項（事業内容の詳細等）

青年就農給付金については、就農前の研修期間中、年間150万円を最長2年間給付する準備型もあり、これについては国から県を通じて就農希望者へ交付される。

担当課名【農林水産課】（内線2358）

施策体系番号 3-1-3

|                            |             |        |                |
|----------------------------|-------------|--------|----------------|
| No.54 事業名 「食と農を市民で考える」推進事業 | 24年度<br>予算額 | 616 千円 | 新規<br>拡大<br>継続 |
|----------------------------|-------------|--------|----------------|

### 1 事業目的（趣旨）

人が生きるため、命を支えるために必要な「食」を通して、農業の大切さを知り、食について考えてもらうことにより、環境、健康と農業の関わりを市民に考えてもらうきっかけとする。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

- ・食、食育に関するアンケートを実施し、現状把握と課題の抽出を行い、環境創造型農業の効果的な事業展開を進める。
- ・学校や地域において食と農の関わりを伝える「学ぶ」機会を提供（出張授業やレッツGOはん俱樂部、市民フォーラムを開催）し、市民の食、健康、環境と農業について考えるきっかけをつくる。

#### (2) 事業期間

平成24年～

#### (3) 事業主体

豊岡市

#### (4) 全体事業費（補助率・負担率等）

616千円

### 3 24年度予算

#### (1) 予算額

616千円

#### (2) 事業内容

- ①食育アンケートの実施・・・保・幼・小・中の保護者及び一般市民
- ②出張授業・・・学校・地域・家庭での食に対する意識を高めるための出前授業の開催
- ③レッツGOはん俱樂部・・・炊飯体験、食と農の講演会、実食
- ④市民フォーラムの開催・・・消費者、生産者、流通、行政などによる

担当課名【農林水産課】（内線 2368）

施策体系番号 3-1-3

|                      |             |          |                |
|----------------------|-------------|----------|----------------|
| No.55 事業名 農業用施設の維持管理 | 24年度<br>予算額 | 3,400 千円 | 新規<br>拡大<br>継続 |
|----------------------|-------------|----------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

幹線農道の橋梁とトンネルの調査点検を行い利用者の安全性の確保と施設の保全を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

トンネル調査点検  
農道橋橋梁調査点検

(2) 事業期間

平成 24～26 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

12,400 千円（豊岡市 100%）

3 24 年度予算

(1) 予算額

3,400 千円

(2) 事業内容

- ・ 神美トンネル調査点検
- ・ 蓼川大橋及び五条大橋調査点検

担当課名【農林水産課】（内線 2374）

施策体系番号 3-2-1

|             |   |             |           |                |
|-------------|---|-------------|-----------|----------------|
| No.56<br>-1 | 事業名<br>基盤整備促進事業<br>(福江幹線排水路、蓼川幹線<br>水路) | 24年度<br>予算額 | 15,000 千円 | 新規<br>拡大<br>継続 |
|-------------|---|-------------|-----------|----------------|

1 事業目的(趣旨)

施設の適正な管理と長寿命化を図るため、基幹水利施設ストックマネジメント事業により、福江基幹水路、蓼川用水路の2箇所を実施する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

福江基幹排水路工 L=1,130m H=1.2m W=2.0~4.3m

蓼川用水路工 L=3,784m H=0.7~0.9m W=1.7~1.8m

(2) 事業期間

平成21~24年度(本年度完了予定)

(3) 事業主体

兵庫県

(4) 全体事業費(補助率・負担率等)

398,000千円(国50% 県25% 市10% 地元15%)

3 24年度予算

(1) 予算額

15,000千円

(2) 事業内容

福江基幹排水路工 L=365m H=1.2m W=2.0~4.3m

蓼川用水路工 L=370m H=0.7m W=1.7m

担当課名【農林水産課】(内線2374)

施策体系番号3-1-3

|             |                          |             |           |                |
|-------------|--------------------------|-------------|-----------|----------------|
| No.56<br>-2 | 事業名<br>基盤整備促進事業<br>(蓼川堰) | 24年度<br>予算額 | 17,600 千円 | 新規<br>拡大<br>継続 |
|-------------|--------------------------|-------------|-----------|----------------|

1 事業目的(趣旨)

老朽化が進み河川堤防へ及ぼす危険性を解消するため、農業用河川工作物応急対策事業により、蓼川堰の改修を実施する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

堰本体工、護岸工、土砂ゲート・操作室、魚道等

(2) 事業期間

平成 20~25 年度予定

(3) 事業主体

兵庫県

(4) 全体事業費(補助率・負担率等)

1,240,000 千円(国 55% 県 37% 地元 8%)

3 24 年度予算

(1) 予算額

17,600 千円

(2) 事業内容

右岸堰本体工、護床工、土砂ゲート

担当課名【農林水産課】(内線 2374)

施策体系番号 3-1-3

|                     |             |           |                |
|---------------------|-------------|-----------|----------------|
| No.57 事業名 緊急防災林整備事業 | 24年度<br>予算額 | 42,667 千円 | 新規<br>拡大<br>継続 |
|---------------------|-------------|-----------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

スギ・ヒノキ人工林が大半を占める危険渓流の流域内の森林を対象として、斜面の防災機能強化のための間伐木を利用した簡易土留工の設置を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

計画面積 900ha

簡易土留工（間伐木を使った簡易な土留工の設置）

(2) 事業期間

平成 23 年度～平成 27 年度

(3) 事業主体

北但東部森林組合

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

213,335 千円（県民緑税 100% 充当）

3 24 年度予算

(1) 予算額

42,667 千円

(2) 事業内容

計画面積 180ha

簡易土留工（間伐木を使った簡易な土留工の設置）

担当課名【農林水産課】（内線 2391）

施策体系番号 1-i-1、3-1-4

|       |                  |             |           |                |
|-------|------------------|-------------|-----------|----------------|
| No.58 | 事業名 水産業の振興と漁港の管理 | 24年度<br>予算額 | 10,400 千円 | 新規<br>拡大<br>継続 |
|-------|------------------|-------------|-----------|----------------|

### 1 事業目的（趣旨）

豊岡市の地域ブランドである「津居山かに」のさらなる高級ブランド化、竹野漁港施設の改修と田結漁港の漂着ゴミの流入防止を実施し、漁業の振興及び経営の安定を図る。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内容

- ・「かに」のタグに「兵庫県豊岡市」、「コウノトリの絵」を載せ、その環境に配慮した兵庫県豊岡市からとれた「かに」というイメージで、販売促進を図る。
- ・竹野地区漁港 漁港施設の改修及び藻場造成
- ・田結漁港 ゴミ漂着防止用フェンス設置

#### (2) 事業期間

- ・津居山かにタグ購入費 平成 24 年度～
- ・竹野地区浅海漁業の振興に係る整備 平成 22 年度～平成 25 年度
- ・田結漁港漂着ゴミ防止用フェンスの設置 平成 24 年度

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3 24 年度予算

#### (1) 予算額

- ・津居山かにタグ購入費 1,500 千円
- ・竹野地区浅海漁業の振興に係る整備 4,700 千円
- ・田結漁港漂着ゴミ防止用フェンスの設置 4,200 千円【新規】

#### (2) 事業内容

- ・「津居山かに」タグの購入、1 隻あたり 2,000 個（総数 16 隻）
- ・竹野地区漁港整備 須井漁港進入路及び船揚場補修工事（漁港進入路補修及び転落防止柵設置並びに船揚場補修）、藻場造成用実証ブロック試験設置工事（ブロック 40 基）
- ・田結漁港 ゴミ漂着防止用フェンス設置 L=60m

担当課名【農林水産課】（内線 2391）

施策体系番号 3-1-5

|       |                       |             |          |                |
|-------|-----------------------|-------------|----------|----------------|
| No.59 | 事業名<br>コウノトリ知の集積・交流事業 | 24年度<br>予算額 | 2,293 千円 | 新規<br>拡大<br>継続 |
|-------|-----------------------|-------------|----------|----------------|

### 1 事業目的（趣旨）

コウノトリ野生復帰を通じて積み重ねられている「現場知」に科学的な裏付けを付加し、事業の進展と普遍的な知の蓄積を目指す。得られた成果は広く発信し、共有を図ることで、豊岡を「知の集積・交流の拠点」とする。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

- ①コウノトリ野生復帰学術研究奨励補助事業
- ②知の誘引事業

#### (2) 事業期間

平成 16 年度～

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3 24 年度予算

#### (1) 予算額

2,293 千円

#### (2) 事業内容

##### ①学術研究奨励補助事業（1,711 千円）

豊岡で研究を行う大学生・院生らに対し、宿泊費・交通費等の一部を助成する。

##### ◆一般補助枠 500 千円

個人：@100 千円×3 人、グループ：@200 千円×1 組

##### ◆テーマ限定補助枠 600 千円

（市が指定するテーマについて、補助額にプレミアムをつけて募集）

個人：@150 千円×2 人、グループ：@300 千円×1 組

##### ②知の誘引事業（582 千円）

「日本・アジア SATOYAMA 教育イニシアティブ」（H20～22 年度。東京大学・国連大学高等研究所・豊岡市 3 者連携事業）以降、田結地区をフィールドに継続的な研究活動を続ける東京大学保全生態学研究室の演習講座（単位認定講座）を誘致する。

地域でのワークショップ開催、研究成果の提供等を含め市と東京大学が協定を結び、講座開設に必要な研究スタッフの旅費や必要経費の一部をサポート。H24 年度は、生物多様性地域戦略策定（No. 83）に携わる地元高校生委員との連携も検討。

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2342）

施策体系番号 2-1-2



|       |                           |             |           |                |
|-------|---------------------------|-------------|-----------|----------------|
| No.60 | 事業名<br>コウノトリ生息地保全対策<br>事業 | 24年度<br>予算額 | 15,000 千円 | 新規<br>拡大<br>継続 |
|-------|---------------------------|-------------|-----------|----------------|

### 1 事業目的（趣旨）

コウノトリの生息地保全を柱に、市内のさまざまな環境活動団体が連携できる組織づくり、継続的な事業展開が可能な仕組みづくり、外部団体とのネットワーク形成、市民への普及啓発、環境教育の充実などの基盤整備に取り組んでいる。

環境省の補助金やコウノトリ基金などの財源を活用しながら、豊岡の地に根づくシステムの構築を目指す。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

- ①コウノトリ生息地保全協議会事業
- ②コウノトリ基金活用事業

#### (2) 事業期間

平成 20 年度～

#### (3) 事業主体

市・コウノトリ生息地保全協議会（コウノトリ湿地ネット、コウノトリ市民研究所、コウノトリ環境経済コンソーシアム、但馬野鳥の会、豊岡市）

### 3 24 年度予算

#### (1) 予算額

- ①コウノトリ生息地保全協議会事業 5,000 千円
- ②コウノトリ基金活用事業 10,000 千円

#### (2) 事業内容

##### ①コウノトリ生息地保全協議会事業（5,000 千円）

（環境省「生物多様性保全推進支援事業」採択。H24 年度全体事業費 12,000 千円のうち、国：6,000 千円、市：5,000 千円、他団体等：1,000 千円）

- ・生物多様性保全の分野における地域の担い手育成を主眼に置きながら、企業との協働、ラムサール条約湿地普及啓発、ボランティアの日などを推し進める活動を実施。

##### ②コウノトリ基金活用事業（10,000 千円）

- ・ビオトープ水田の設置管理（@24 千円/10a×1ha×18ヶ所＋生きもの調査加算）
- ・大規模湿地の維持管理技術研究（@35 千円/10a×戸島 3.2ha、加陽 3.0ha）
- ・生物モニタリング調査
- ・出張「田んぼの学校」
- ・小さな自然再生活動支援助成事業

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2342）

施策体系番号 2-1-1

|       |               |             |        |                |
|-------|---------------|-------------|--------|----------------|
| No.61 | 事業名 自然生態系保全事業 | 24年度<br>予算額 | 380 千円 | 新規<br>拡大<br>継続 |
|-------|---------------|-------------|--------|----------------|

1 事業目的（趣旨）

コウノトリ野生復帰事業を通じた自然再生・創造の取組みに加え、在来の生態系を破壊する外来種への対策や、希少生物保護対策など自然生態系保全に取り組む。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ①外来種駆除事業
- ②アベサンショウウオ保護事業

(2) 事業期間

平成 22 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 24 年度予算

(1) 予算額

380 千円

(2) 事業内容

①外来種駆除（300 千円）

継続的な駆除作業とデータ分析によって効果が得られている城崎町菊屋島閉鎖型湿地での外来魚（ブルーギル）駆除作業を、市民を巻き込んだ作業へと展開する。また、同様の手法で、新たな外来種（カダヤシなど）についても視野を広げていく。

②アベサンショウウオ保護（80 千円）

種の保存法による保護区（同管理地区）に指定されている「大岡アベサンショウウオ生息地」（日高町）での保護活動を強化する。地域と連携しながら獣害対策等を実施するとともに、保護区エリアの拡大を目指す。

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2342）

施策体系番号 2-i-1